

事例1: 公民館を活用した地域の日本語教室[岐阜県]

➤ みずなみ にほんごであつまろまい

- 瑞浪市では、同じ地域で暮らす外国人と日本人が交流しながら、生活に必要な「やさしい日本語」やコミュニケーションの取り方などを学ぶための地域日本語教室を公民館で開催。
- 学習者(日本語を学びたい外国人)と日本語パートナー(学習支援ボランティア)を併せて募集し、少人数によるグループ対話型学習を実施。

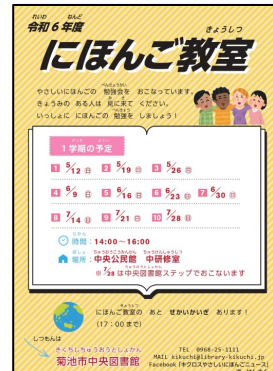
※右記ポスターは令和5年度版



事例2: 図書館が開催する日本語教室[熊本県]

➤ 菊池市立図書館 にほんご教室

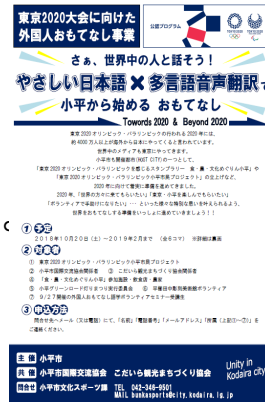
- 菊池市立図書館は、域内の在住外国人の実態を把握した上で、外国人の図書館利用の推進に向け、「多文化サービス」を実施。
- 外国人のニーズに合わせ、「にほんご教室」(大人の部)を開催。
- 地域の公民館、住民、ボランティアと連携した交流型の日本語学習の場として、「にほんごカフェ」を企画(令和5年度)



事例3: 社会教育主事有資格者 萩元 直樹さん[東京都]

➤ 多文化共生×観光まちづくりの講座におけるやさしい日本語の活用

- 地域の方々に積極的に国際交流を行ってもらうことを目的として、多文化共生講座を開催。
- 参加者には、外国人の方が暮らしやすい・訪れやすいまちづくりを考えていただく。
- 講座では、やさしい日本語と無料の多言語音声翻訳アプリの使い方を学びながら、地域の方が実際に留学生をはじめとする外国人の方と交流する機会を設けた。



事例4: 戸田市民大学 市民企画講座[埼玉県]

➤ 外国人と「日本語」で話すための「やさしい日本語」講座

- 戸田市では、市民企画講座を募集し、採用された企画を市民大学講座として実施。
- 令和5年度市民大学講座として、「やさしい日本語」講座を開催。
- 外国人と日本語で話す時の「話し言葉」を「やさしい日本語」にするコツを学び、実践練習を行った。

